

令和3年度 第1回 焼津市障害者自立支援ネットワーク全体会 意見等集約表

5 基幹相談支援センター活動状況について

構成員	意見等	事務局回答等
静岡福祉大学	<p>強度行動障害がある人のサービス利用については、まず、中心となる医療機関や入所施設等を確保し、相談支援事業所、訪問介護事業所などが入院・入所中から関わり連携しながら支援していくことが必要ではないでしょうか。また、受け入れのための施設環境整備や職員配置への費用補助、専門人材育成・確保・調整なども同時に進めていく必要があると考えています。</p>	<p>ご助言ありがとうございます。 相談支援事業所等に周知するとともに、研修計画作成時に参考とさせていただきます。</p>
静岡県中西部発達障害者支援センターCOCO	<p>○強度行動障害者のサービス利用について 国県でも強行支援者の養成研修を積極的に実施しています。本市において、当該研修受講者を把握することでケース検討など他事業者が協働した支援技法等を学ぶ機会によって、受け入れが可能な環境整備につながるとも思います。</p> <p>○児童期のライフステージ移行時の支援 障害があることで15歳の進路を迫る一方、一般的視点から社会的環境に触れる、感じる活動は思春期こそ本人にとっては貴重な機会でもあります。支援者側が本人の人生の可能性を狭めない意思決定のアプローチを望みます。</p>	<p>ご意見・ご助言ありがとうございます。 【強度行動障害のサービス利用について】 研修受講者の把握、事例検討について、居宅介護連絡会と連携し検討していきます。 【児童期のライフステージ移行時の支援】 本人の可能性を狭めることのないよう意思決定支援を行い、協議を進めていきます。</p>
焼津市社会福祉協議会	<p>市内の相談支援事業所に対して専門的助言を行うには、専門職の専任配置が不可欠と思うが、職員体制（兼務）をどのように考えているのか。</p>	<p>焼津市においては、基幹機能の専門職配置について、地域生活支援事業の機能強化事業所として、わおん、暁、社会福祉協議会の3つの相談支援事業所に委託しております。</p>
焼津市ボランティア連絡協議会	<p>センターのどこへ相談行くのが必要か、在宅障害者は迷いますが。 8050問題を受け止めながら支援していきます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 8050問題は増加傾向にあるため、皆様との共同による支援体制も構築していきます。</p>